

【特別寄稿】桐技会 会報 No. 10 & 卒業生からの報告 ⑥

筑波大学 医療科学類同窓会 『桐技会』フロンティア医科学専攻進学者へのアンケート



卒業生のMLを通じて、フロンティア医科学専攻進学者に下記のアンケートを依頼しました。回答をTJMSを通じてお伝えいたします。

氏名	卒業年	フロンティア医科学専攻への進学 動機	現在のキャリアに如何に役立ったか
		現在の所属	進学希望の後輩へのアドバイス
(順不同)			
匿名	2009	研究員になりたかったから	学類の時は進路について考える時間と機会がなく、かなり狭い視野でしか将来を考えていなかったが、進学をして色々な学部出身の人と出会い、また就職活動を通して色々な人と出会う事で、今までに考えていなかった価値観など見えてきました。
		フロンティア医科学専攻在学	進学するしないを問わず、他人の考えではなく自分の意志を持って進路を決めてほしいと思います。
匿名	2007	論理的思考力の獲得	キャリアには直接役立っていないと思うが、思考回路が形成されたので、目的は果たせた。
		民間企業	就職に有利・不利は、大学院名、研究室名で決まりはしないので、自分の目的を明確にしておくべきです。
匿名	2007	研究を続けるため、博士課程に進学するため	
		生命システム医学専攻在学	2年間あつという間 目標(短期も長期も)を明確にしないと気付いたら2年終わっている

匿名	2008	<p>将来、研究開発の仕事に携わりたいと思ったため。</p>	<p>臨床開発職という希望の職種で就職できたのは、大学院で医科学の基礎を学んだからだと思います。仕事柄私の会社では薬学部出身者が多いですが、医科学のバックグラウンドを持っている事で薬学出身者とは違う視点で医薬品の開発にアプローチする事ができます。そういう意味で、フロンティア医科学専攻への進学は現在の仕事で大変役に立っております。</p>
		<p>民間企業 医薬開発部</p>	<p>大学院の研究生活では、「主体的に考え、学ぶ」ことが要求されます。これは病院や企業においても同じだと思います。しかし、学類の講義・実習では受け身になりがちで、なかなか「主体的に考え、学ぶ」スキルを身に付けることができません。そのため大学院での研究生生活は、社会人になる準備としても有用であると思います。</p>
匿名	2009	<p>卒業研究を行っていた当時は、研究全体の流れもよくわからず、英語の論文も満足に読めず、できないことばかりでした。それらを少しでもできるようにしたいと思い進学しました。</p>	<p>論文を読める程度の英語力や、研究の背景知識を身に付けることができたと思います。しかしそれ以上に、日々の実験を通して物事を論理的に考えようとする習慣がついたと思います。</p>
		<p>フロンティア医科学専攻在学</p>	<p>医療科学では国家試験の受験を控えているため、どうしても知識を詰め込むことに時間と労力を使わざるを得ません。しかし社会で求められているのは問題提起・発見能力です。これを身に付けるためには、日々の実験を通して考えることが良いトレーニングになるのではないかと思います。</p>

匿名	2009	卒業研究をもう少し掘り下げて研究したかったから。研究者になりたかったから。	フロンティア医科学専攻の授業はほとんどが英語で行われ、英語力が上がる点、また種類も豊富であるため、幅広い知識を兼ね備えられるという点で進学や就職にはプラスになったと思います。
		フロンティア医科学専攻在学	主に研究室で過ごし、実験に明け暮れる毎日になると思いますが、セミナーに自主的に参加して勉強したり、大学院の国際交流事業に携わったり、海外で勉強するチャンスもあります。決して閉鎖的な環境ではなく、縦横のつながりも強い環境で楽しいです。私の場合、フロンティア医科学専攻に進学したことで、大学時代よりもチャレンジ精神旺盛になり、進学して良かったと感じています。
匿名	2008	医療科学で様々な基礎医学を学び、さらに深く研究したいと思う内容があったから。	二年間一生懸命研究を行ってきて、その姿勢が今の仕事にも活かしていると思う。フロンティア医科学ではあまり講義から得られるものが少なかったと思うが、医療科学で基礎医学を幅広く学ぶことができたからこそ、フロンティア医科学での2年間は研究に専念できたのだと思う。
		民間企業 研究員	研究する環境は整っていると思うので、研究したい分野があるならば一生懸命研究に没頭してください。

匿名	2008	卒業研究から研究を始め、研究が面白かったので、もう少し続けてみたいと思ったことと、やはり研究職に就くことを希望していたので、進学しました。	修士課程では、様々な実験の手技を学び、実験結果の解釈や実験の進め方について訓練しました。修士課程で学んだことは、博士課程に進学した今も役立っていると思います。
		生命システム医学専攻 在学	医療科学で勉強する科目は、臨床検査技師として働かなくても、研究をしていく中で役立つことがあります。臨床検査技師として働くつもりがなくても、しっかり勉強するに越したことはないと思います。フロンティア医科学専攻では、基礎・臨床・社会医学のたくさんの研究室がありますので、自分の興味や将来の進路に合わせて研究室を探して下さい。

筑波医療科学 第7巻 第3号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 有波忠雄
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類
	〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2010年12月25日